

平成22年7月期 第2四半期決算短信

平成22年3月15日

上場会社名 株式会社 稲葉製作所

上場取引所 東

コード番号 3421 URL <http://www.inaba-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲葉 明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 江口 勤

四半期報告書提出予定日 平成22年3月17日

配当支払開始予定日

TEL 03-3759-5181

平成22年4月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年7月期第2四半期の連結業績(平成21年8月1日～平成22年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年7月期第2四半期	12,179	△9.9	△352	—	△225	—	△239	—
21年7月期第2四半期	13,515	—	△484	—	△367	—	△80	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年7月期第2四半期	△13.37	—
21年7月期第2四半期	△4.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
22年7月期第2四半期	44,125	73.5	32,448	73.5	—	—	1,810.55	
21年7月期	44,163	74.4	32,842	74.4	—	—	1,832.49	

(参考) 自己資本 22年7月期第2四半期 32,448百万円 21年7月期 32,842百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年7月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年7月期	—	8.00	—	—	—
22年7月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年7月期の連結業績予想(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	△3.3	△360	—	△160	—	△250	—	△13.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年7月期第2四半期 17,922,429株 21年7月期 17,922,429株

② 期末自己株式数 22年7月期第2四半期 227株 21年7月期 227株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年7月期第2四半期 17,922,202株 21年7月期第2四半期 17,922,202株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気刺激策もあって電機・自動車などは息を吹き返したものの、建設・不動産など内需依存型の業種は不振が続いております。また厳しい雇用・所得環境が続く中、個人消費は依然として低調で、円高やデフレへの不安が立ち消えず、本格的な回復への道筋が見えない状況にあります。

このような経営環境の中で、当社グループの鋼製物置部門におきましては、ガレージシリーズの拡販に注力いたしましたほか、オフィス家具部門におきましては、ワークスタイルを考慮し、環境にも配慮した製品の販促に努めました。戸建住宅着工戸数の低迷（鋼製物置部門）、企業の投資抑制による移転需要の大幅な減退と過当競争による価格下落（オフィス家具部門）の影響等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.9%減少の12,179百万円、営業損失は352百万円（前年同期比27.3%減）、経常損失は225百万円（前年同期比38.6%減）、四半期純損失は239百万円（前年同期比197.5%増）となりました。

部門別の状況は、次のとおりであります。

（部門別売上高）：当第2四半期連結累計期間（自平成21年8月1日至平成22年1月31日）

部門	金額（百万円）	前年同期比（%）	構成比（%）
鋼製物置	7,577	96.9	62.2
オフィス家具	4,602	80.8	37.8
合計	12,179	90.1	100.0

（鋼製物置部門）

10月に発売しました新型ガレージ「ガレーディア」が牽引役となり、ガレージ部門におきましては出荷棟数ベースで、11月から1月の3ヶ月間は前年同期比約115%と堅調に推移したものの、小型収納庫、自転車置場等が振るわず、全体としての出荷棟数（8月～1月）は前年同期比92%強に留まっております。その結果、新設住宅着工戸数低迷の影響もあり、鋼製物置部門の売上高は、前年同期比3.1%減少の7,577百万円となりました。

（オフィス家具部門）

11月には技術の粋を尽くしたフラッグシップチェアである『X a i r』（エクセア）を発売致しました。これは世界的な工業デザイナー奥山清行氏とのコラボレーションによる製品で好評を博しており、2月の「ストックホルム展示会」にも出展致しました。

今後ますます多様化するオフィスのワークスタイルをフレキシブルに展開できる連結型デスク「アルフィスーF」や、シンプルで美しさと使い易さを追求したデスク「マテリア」、パーティション「クオリノ」及び書庫「リベスト」の拡販に注力いたしました。しかしながら、建築着工の低迷や企業収益の見直し不安によるオフィス移転プロジェクトの延期や中止が続いており、OEM先からの受注は本格的回復に至らず、売上高は低位に推移しました。その結果、オフィス家具部門の売上高は、前年同期比19.2%減少の4,602百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が614百万円増加しましたが、現金及び預金が632百万円減少したことなどにより37百万円減少して、44,125百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が855百万円増加したことなどにより355百万円増加して、11,676百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ、四半期純損失の計上と配当金の支払により利益剰余金が383百万円減少したことなどにより393百万円減少して、32,448百万円となりました。その結果、自己資本比率は73.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ632百万円減少の7,889百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の使用は、333百万円（前年同期は6百万円の獲得）となりました。これは、減価償却費297百万円、仕入債務の増加855百万円等による資金増加要因と、税金等調整前四半期純損失317百万円、売上債権の増加615百万円、事業構造改善費用の支払478百万円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の使用は、155百万円（前年同期は4,215百万円の獲得）となりました。これは、有形固定資産の取得133百万円等による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の使用は、143百万円（前年同期比142百万円の支出減）となりました。これは、配当金の支払143百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,889,761	15,522,332
受取手形及び売掛金	7,021,966	6,407,095
商品及び製品	1,669,980	1,644,874
仕掛品	231,843	138,920
原材料及び貯蔵品	341,206	298,460
その他	592,470	726,016
貸倒引当金	△166,630	△102,084
流動資産合計	24,580,599	24,635,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,095,855	4,218,937
土地	11,781,179	11,781,179
その他(純額)	760,734	852,559
有形固定資産合計	16,637,770	16,852,676
無形固定資産		
投資その他の資産	119,518	125,492
その他	2,794,948	2,556,515
貸倒引当金	△7,725	△7,283
投資その他の資産合計	2,787,223	2,549,231
固定資産合計	19,544,512	19,527,401
資産合計	44,125,111	44,163,017
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,310,773	5,455,493
未払法人税等	15,745	19,138
賞与引当金	241,022	246,688
その他	1,506,734	1,894,455
流動負債合計	8,074,275	7,615,776
固定負債		
退職給付引当金	2,569,875	2,704,808
役員退職慰労引当金	340,186	329,527
その他	691,801	670,693
固定負債合計	3,601,863	3,705,028
負債合計	11,676,139	11,320,805

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	763,500	763,500
利益剰余金	30,482,590	30,865,644
自己株式	△389	△389
株主資本合計	32,377,749	32,760,803
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71,222	81,408
評価・換算差額等合計	71,222	81,408
純資産合計	32,448,972	32,842,212
負債純資産合計	44,125,111	44,163,017

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成21年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年1月31日)
売上高	13,515,236	12,179,807
売上原価	11,120,268	9,600,066
売上総利益	2,394,967	2,579,740
販売費及び一般管理費	2,879,819	2,932,022
営業損失(△)	△484,851	△352,281
営業外収益		
受取利息	39,102	20,219
受取配当金	7,191	3,115
作業くず売却益	50,219	40,896
助成金収入	—	36,273
雑収入	31,521	27,796
営業外収益合計	128,034	128,302
営業外費用		
支払利息	660	972
為替差損	9,634	681
雑損失	490	15
営業外費用合計	10,784	1,669
経常損失(△)	△367,602	△225,649
特別利益		
固定資産売却益	—	10,244
保険解約返戻金	368,266	—
特別利益合計	368,266	10,244
特別損失		
減損損失	—	98,105
投資有価証券評価損	29,551	2,000
その他	6,897	2,189
特別損失合計	36,449	102,295
税金等調整前四半期純損失(△)	△35,785	△317,699
法人税、住民税及び事業税	15,540	5,448
法人税等調整額	29,228	△83,470
法人税等合計	44,768	△78,022
四半期純損失(△)	△80,554	△239,676

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成21年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△35,785	△317,699
減価償却費	559,390	297,939
減損損失	—	98,105
貸倒引当金の増減額(△は減少)	187	64,988
賞与引当金の増減額(△は減少)	△67,851	△5,666
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56,126	△134,932
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,276	10,659
受取利息及び受取配当金	△46,293	△23,335
支払利息	660	972
保険解約損益(△は益)	△368,266	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△10,165
投資有価証券評価損益(△は益)	29,551	2,000
売上債権の増減額(△は増加)	1,653,143	△615,352
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,563	△160,775
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,284,478	855,279
その他	△104,532	47,751
小計	407,691	109,769
利息及び配当金の受取額	55,108	27,076
利息の支払額	△660	△972
法人税等の支払額	△455,579	△12,224
法人税等の還付額	—	20,980
事業構造改善費用の支払額	—	△478,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,559	△333,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△7,000,000
定期預金の払戻による収入	5,000,000	7,000,000
有形固定資産の取得による支出	△479,339	△133,603
保険積立金の解約による収入	740,082	—
その他	△45,460	△21,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,215,283	△155,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△285,883	△143,050
その他	—	△621
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285,883	△143,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,935,959	△632,570
現金及び現金同等物の期首残高	10,158,434	8,522,332
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,094,393	7,889,761

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年8月1日 至 平成21年1月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日）

当企業集団の事業は、類似素材を対象として類似技術のもとに製品を製造・販売する単一業種の事業活動を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年8月1日 至 平成21年1月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年8月1日 至 平成21年1月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。